

リーディングDXスクール事業【実践事例】

京丹波町立和知中学校(京都府)【指定校】

【取組内容】 ICT環境を基盤とする、自立した学習者の育成に向けた授業改善

各教科で単元内自由進度学習や探究をベースに、生徒が自己調節しながら学べるように授業改善を行った。単元を通して、見通しを持ったり、学習計画を修正できるようにICT環境を工夫した。その過程で授業の複線化が見られた。アンケートの結果、生徒の学習に向かう内発的な動機に関して変化があった。

項目（5件法のアンケート調査）	1学期	2学期
「知りたい」「分かりたい」「できるようになりたい」と思っていることがある。	3.93	4.56



自分が選んだ徒然草の段から兼行法師の人間像を探究する（国語）



教科書から情報を整理し、「近代化とは何か」を探究する（社会）



計算技能の習得に向けて、個別、協働して取り組む（数学）



生物の体のつくりについて細胞の観察を行い探究する（理科）



本文の読解に向けて、自分に合ったスタイルで取り組む（英語）



自分たちがたてた計画に沿って柔道を探究する（体育）

【取組内容】 自立した学習者の育成を支えるICT環境

各教科で作成した単元の手引き・振り返りシートの一例

項目	長距離走	2年	指導と評価の計画
単元 の 目 標	知識及び技能 思考力、判断力、 表現力等 学びに向かう力、人間性等	授業の中で中継する場面や走りながら、路上訓練の得意な者へ、上級者の仲間をやり方。その運動に満足して走る体力などを伸ばすとともに、基本的な動きや歩調のよい動きを身に付ける。 長距離走は、自分のスピードで走り続けるフォームベースを守りながら、一定の速度を維持し、タイムを短縮したり、競走したくなるようになること。 様々な自分の課題を見直し、合理的な解決に向けて練習に取り組む能力や工夫をするときに、自己の考え、ことばを伝え合えることができるようになること。 路上競技・陸域種目に取り組むときに、健康などを含め、ルール・マナーを守らなければならないこと。自分も役割を果たさなくてはならないこと。一人一人の役割に応じた課題や目標を設定することができるとともに、仲間と共に責任を負うことができるようになること。	指導と評価の計画
学習 の 流れ	10分 準備運動 20分 基本動作 30分 実践活動 40分 振り返り 50分	安安静静指数計測 体操・W-U-P 本時の目標確認・調整 >1000m～1400mで範囲内や選択・自分で設定した目標に到達できるような練習 (例) 1000mで1周あたり7分のタイムを定めさせる。 (例) 1周あたり1周あたりのタイムを定めさせる。 (例) 運動強度目標を達成する。 振り返り	【する】 (ア) 自分のイメージと動作を一致させる。 (イ) 他者やモデルの動作を自身にトレースする。 (ウ) 自身に合うようアレンジする。 (エ) 他者の動作の特徴に真似てみる。 【見る（観る）】 (オ) 競技の特性やルールによる魅力を理解する。 (カ) 地域や世界からの関心を知る。 【まねく】 (キ) 競技が成立する背景を理解する。
評価機会	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10	評価方法（成績簿のための視点）	観察・定期テスト・单元レポート 観察 観察・定期テスト・单元レポート 観察
単元の評価基準	知識 ① 技能 ② 思考 ③ 表現 ④ 態度 ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩	⑪ 知識と競技の特性や成長より、技の名前ややり方、その運動に関連する異なる動き方などにについて言及し意識している。【定期テスト・レポート・観察】 ⑫ 自分のスピードを維持できる姿勢の良いフォームを定めていくことができる。 ⑬ 一定の速度を走り続けることができる。 ⑭ タイムを短縮したり、競走したくなる。 ⑮ 自身の身体に合った、課題や問題に対処することができる。（課題発見） ⑯ 目的や状況に応じて適切な方法を提案することができる。（思考・判断） ⑰ 練習場や教室で学ぶだけでなく校外でも練習することができる。（活用） ⑱ 練習場の確保をしたり休日に参加したりして、練習の時間を増加しようとしている。 ⑲ 健康増進、安全に留意している。

第2学年 国語科「仁和寺にある法師」学習プリント

その他の「徒然草」を読み、紹介したい段を探し、選ぶ。(方法は自由)

クラスの仲間に紹介したい段を選ぶポイント。

- 自分の知識や経験と結びつけて興味のある段を選ぶ。ゼミクラスのみんなに……
 ・そういえば自分もそんなことあったなあ。
 ・自分ではないけど、同じようなこと聞いたことがあるなあ。
 ・この話、現代にも通じるよなあ。
 ・現代ではありえない、考えにくいなあ。もしも現代なら……
 ・この話おもしろいなあ。いいなあ。エモいなあ。
 ・この話おかしいなあ、ひどいなあ。アウトやろ。

○現代語訳や注釈を手ガかりにして、その段の内容や作者の伝えたかったことを理解しよう。

押し方の例

- 国語要覧(資料集)から探す。[数種類ある]
 - ワークブックの資料から探す。
 - 京丹波町立図書館・府立図書館セイト貸し出しから探す。[全17冊ある。]
 - (ネット)ブラウザーから探す。
 - 家庭にある本から探す。
- ※その他あり

専、モロ越己

手引きと計画例				
年次	1章 電流の性質	学習時間	9時間学習 (選択システムあり)	
	● 回路構成に関する基礎知識を身につけて、実験ができる。			
	● 電流の性質や計算方法から始めて、実用電圧と電流計などを使いこなすとする。			
	● 電流の性質や計算方法から始めて、磁石などの現象にもなる。			
1	電流			
2	電圧			
3	電圧と電流			
4	電圧と電流			
5	電圧と電流			
6	電圧と電流			
7	電圧と電流			
8	電圧と電流			
9	電圧と電流			
10	電圧と電流			
11	電圧と電流			
12	電圧と電流			
13	電圧と電流			
14	電圧と電流			
15	電圧と電流			
16	電圧と電流			
17	電圧と電流			
18	電圧と電流			
19	電圧と電流			
20	電圧と電流			
21	電圧と電流			
22	電圧と電流			
23	電圧と電流			
24	電圧と電流			
25	電圧と電流			
26	電圧と電流			
27	電圧と電流			
28	電圧と電流			
29	電圧と電流			
30	電圧と電流			
31	電圧と電流			
32	電圧と電流			
33	電圧と電流			
34	電圧と電流			
35	電圧と電流			
36	電圧と電流			
37	電圧と電流			
38	電圧と電流			
39	電圧と電流			
40	電圧と電流			
41	電圧と電流			
42	電圧と電流			
43	電圧と電流			
44	電圧と電流			
45	電圧と電流			
46	電圧と電流			
47	電圧と電流			
48	電圧と電流			
49	電圧と電流			
50	電圧と電流			
51	電圧と電流			
52	電圧と電流			
53	電圧と電流			
54	電圧と電流			
55	電圧と電流			
56	電圧と電流			
57	電圧と電流			
58	電圧と電流			
59	電圧と電流			
60	電圧と電流			
61	電圧と電流			
62	電圧と電流			
63	電圧と電流			
64	電圧と電流			
65	電圧と電流			
66	電圧と電流			
67	電圧と電流			
68	電圧と電流			
69	電圧と電流			
70	電圧と電流			
71	電圧と電流			
72	電圧と電流			
73	電圧と電流			
74	電圧と電流			
75	電圧と電流			
76	電圧と電流			
77	電圧と電流			
78	電圧と電流			
79	電圧と電流			
80	電圧と電流			
81	電圧と電流			
82	電圧と電流			
83	電圧と電流			
84	電圧と電流			
85	電圧と電流			
86	電圧と電流			
87	電圧と電流			
88	電圧と電流			
89	電圧と電流			
90	電圧と電流			
91	電圧と電流			
92	電圧と電流			
93	電圧と電流			
94	電圧と電流			
95	電圧と電流			
96	電圧と電流			
97	電圧と電流			
98	電圧と電流			
99	電圧と電流			
100	電圧と電流			

[illegible]

○単元の見通し

- 11月5日(火) : 導入+調査①
- 11月12日(火) : 単元テスト+調査①
→ 範囲 「ヨーロッパ人との出会いと全国統一」
※ 単元シート提出
- 11月14日(木) : 調査②
- 11月15日(金) : 調査③
- 11月18日(月) : 調査④
- 11月19日(火) : 調査④ 続き + 交流 @教室
- 11月20日(水) : 次単元導入+全体授業 @教室
- 11月21日(木) : 調査① @カルチャー
- 11月25日? : 単元テスト
→ 範囲 「江戸幕府の成立と対外政策」
※ 単元シート「江戸幕府の成立と対外政策」提出
→ 12月2日(月) までに!

リーディングDXスクール事業【実践事例】

京丹波町立和知中学校(京都府)【指定校】

【取組内容】 授業実践の交流を通して、情報活用能力の育成に関わる意識の共有

本校では、まずはやってみて修正をしていく方法で実践を行ってきた。自立した学習者の育成に向けて「個別最適な学び」を実践し交流する中で、学びを子どもに委ねるためには、情報活用能力や自己調整能力の育成が必要であるという認識を教職員全体で共有することができた。具体的な方法論のアップデートも必要であるが、授業観や生徒観といった「観」のアップデートも合わせて学校全体で行っていく必要がある。

教科書の構造を教える

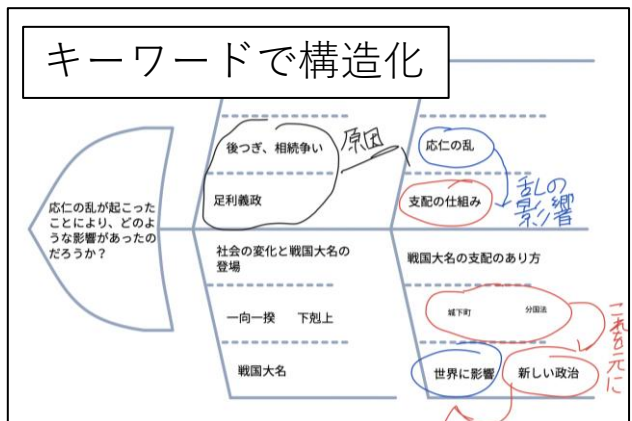


考え方の明示的指導

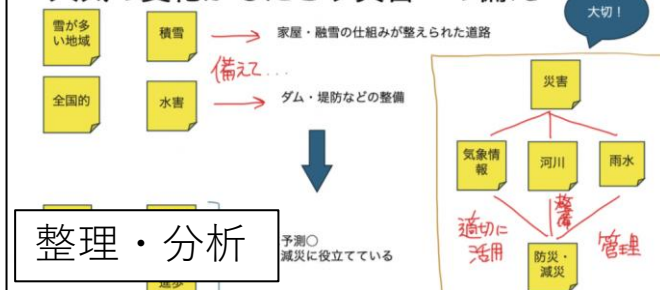
考えを「深める」カテゴリ

同じようにする すでに学んだアイデアや結論などを似ている場面で使う。 「～と同じように考えようかな」 「これまでに同じように考えたことがあるかな」	さかのぼる 事こうとする解答や結論から逆をたどり、それを導く前の段階を明らかにする。 「何がわかれば～を導けるかな」 「～を導けるのはどんなときかな」
改善する 不十分な正答や誤答を見直し、問題解決に向かう。 「もっとわかりやすい説明にできないかな」 「～は正しいと言えるかな」	条件を変える 問題の一部分を変更して新たな問題を見つける。 「～を…にかえたら結果はどうなるかな」 「～を…にかえても成り立つかな」
きまりを見つける いくつかの個別・具体的場合から、常に成り立つことを予想する。 「～からどんなことがわかるかな」 「～にどんなきまりがあるだろうかな」	整理する 考える対象をある目的のために整える。 「どのような場合があるか整理してみよう」 「どのように整理すればわかりやすくなるかな」
逆をつくる 命題の逆をつくり、考察の順番を入れかえたりして考える。 「～と～を入れかえたらどうなるかな」 「逆に、～することができるかな」	広げる 考える対象の範囲を広げる。 「～を…まで広げたらどうなるかな」 「～は…でも同じように成り立つかな」
比べる 複数の対象の共通する点や異なる点に目を向ける。 「～と～を比べるとどんなことがわかるかな」 「どちらの方が～かな」	学んだ形にする 新しく学ぼうとする内容をすでに学んだことに結びつける。 「～の形にできないかな」 「どんな形なら解くことができるだろう」

キーワードで構造化



天気の変化がもたらす災害への備え



興味を持ち選んだ段を、伝わりやすく、わかりやすく紹介しよう。

クラスの仲間に紹介する資料のポイント

- を利用。カードで作成。
- 文章、図、矢印、写真等、まとめる方法は自由。
- 箇段がわかるように…
- 内容がわかるように…
- その段で作者が伝えたいことを…
- ・ そういえる根拠(理由)を本文や登場人物の言動から説明する。
- 自分の知識や経験と結びつけて、自分の考え意見を説明する。
- ・ わたしも～のとき～なことがあって～でした。だから～と思う、考える、いえる。
- ・ ぼくの(聞いた話でもいい)～で～した人がいました。同じように～。
- ・ 現代でも～のようなことがあります。だから～と思う、考える、いえる。
- ・ 現代でなら～のようなことはありえない。もしあったら～ことになるだろう。

※クラスの仲間の資料を

○その段から考えられる、作者はどんな人か、ものの

・～や～のことから～ということが出来る。

・～は～で～な人物である。

等

から参考にしていい。

資料作成の指導

紹介の中に
入れてほしいこと!
(下線部)

リーディングDXスクール事業【実践事例】

京丹波町立和知中学校(京都府)【指定校】

【取組内容】 Teamsチャット・チャンネル機能を活用した情報共有

校務での活用



授業での活用



校内の情報共有をTeamsのチャットやチャンネルを活用。些細なことでも情報を共有することで、業務の効率化と伝達漏れの軽減を図った。
また、教職員が日頃からTeamsを活用し使い慣れることで、授業での活用へとスムーズにつなげることができた。

リーディングDXスクール事業【実践事例】

京丹波町立和知中学校(京都府)【指定校】

【取組内容】 PowerPointの共同編集を用いた授業研究記録

校内の研究授業の記録を、PowerPointで事前に共有しておくことで、事後研究会での入力を効率化し、授業の検討や各教科の実践交流に時間を多く費やすことができた。

また、授業記録がアーカイブされていることで、年度内の授業実践記録・報告などを改めて作成する必要がなく、業務の効率化につながった。



1月30日2年数学	気づき(一言で) - ここには写真を - 飛び回るために、学ぶという目的があった。 - だから、プリントで技能を身につける。 - 活動をする必要がある単元構造。 - スタイルに慣れている。 - 飛び回り以外の表記を使ったりする。学びの場を教科の中でたどるのか？	Keep よかったところ 授業者より... 自由な学習 各自で計画を立てて 生徒が自ら 教師の意図・声掛け、アドバイス、支援 学力はほとんど変わらなかった。学力が高い生徒は自学の力がついてきた。	気づき(一言で) - ここには写真を - コメントをここに追加
気づき(一言で) 学びの手引きを明示 前方の掲示物は教師側の投影・手引きの2つ(シンプル)	気づき(一言で) 15秒後 - 今日が何回目を確認して活動に入るか(15秒後に活動開始) - 生徒が計画を立てているか - 生徒が計画を立てるかを個人が把握できている。	気づき(一言で) 3分時「目標」 5分時「数学」 - 教科や単元によって、学ぶ環境を調整できている生徒 - 多少は人間関係による「安心できるグループ」を作りがちな傾向もある。 - 活動に必要なとする単元計画	気づき(一言で) - 情報を集めるための学びの場所選択 - 思い通りではなく、体育館で練習する日を計画して実施する生徒 - 教師の目の届かない所で学ぶ場合、安全の確保は大丈夫か？学びを促す上で、バランスが難しい所ですね。
気づき(一言で) - 授業者不在でも学びを進めることができる。 - 自分で立てた計画には主体性が生まれるため、指導者に左右されない学びが進む。 - 学校の生徒指導状況にもよるが、今の学校からできることのつかみきれないため、生徒指導を学びの主体性が上回れば実現できると感じた。	気づき(一言で) - 自分で集めたデータを元に飛び回る。 - 実際に飛び回って作ってみてどう感じたか、振り返る。	気づき(一言で) インターネットが自由に使えることで、集めるデータの幅が広がる	気づき(一言で) 「データを取る対象者を先生にまで広げようか」とどの集団のデータを取りたいのか考えないといけない場面、アドバイス (むやみにデータを収集すれば、何の集団の誰なのか目的がぶれる？) - データを取る目的を考えさせる(ここにも教師の役割)

